

米国のヘッジファンドに日本の投資家の資金運用を委ね、その収益の1%を日本のNPO（非営利組織）に寄付してもらおう……。そんな仕組みを日本の金融コンサルタンの渋沢健氏が初めて実現し、第一号の寄付先に近く数百万円を渡すことになった。

米国の中堅ヘッジファンド運用会社「ボイジャーマネジメント」が運用益の1割を成功報酬として受け取り、その報酬の

## 米国ファンドの運用益 1%を日本のNPOへ

1割を、民間国際交流の団体だ。01年10月に創設、いまはNPO法人（特定非営利活動法人）を申請している。

渋沢氏は明治の実業家の子孫。米国の大学を卒業後、日本

### 渋沢栄一の子孫が考案

ファンドの運用益の1%がNPOに回る仕組みだ。国際交流センターに勤務。米国の投資銀行をへて東京で独立した。「金もう

けをめざす金融と、志の高い社会的な活動という二つの世界の橋渡しをしたかった」と語る。